

平成30年度工事検査結果について

R 1.5

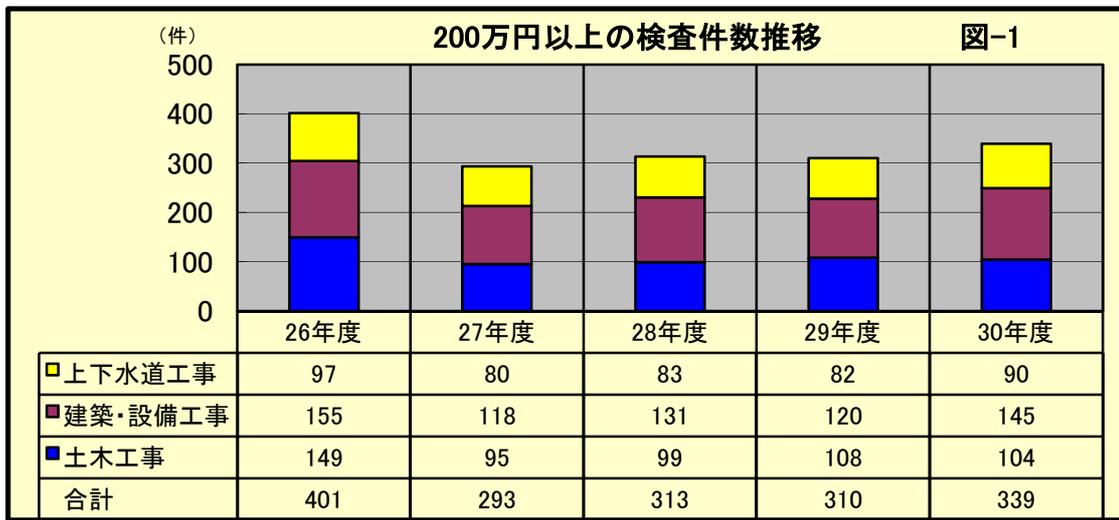
工事検査課

1 工事検査件数について

平成30年度に実施した検査件数は630件で、前年度682件に対して52件減少しました。

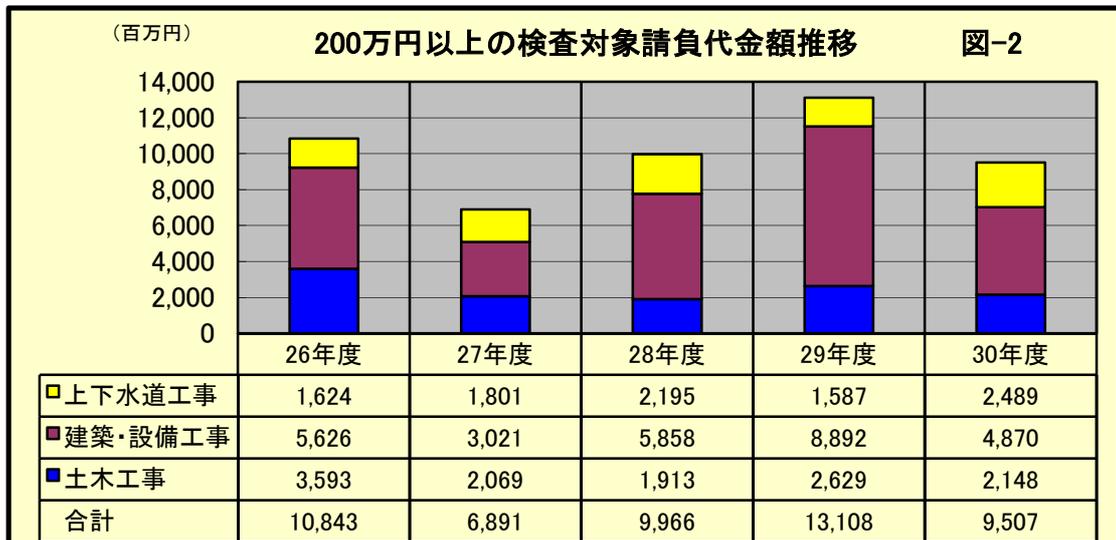
工事検査件数集計表 (単位:件) <表1>

		29年度	30年度	増減
竣工検査	200万円以上(一般)	289	325	36
	200万円以上(解体)	21	14	-7
	小計	310	339	29
	200万円未満(一般)	10	12	2
	200万円未満(解体)	24	21	-3
	小計	34	33	-1
計		344	372	28
出来高検査		9	7	-2
中間検査		329	251	-78
合計		682	630	-52



2 検査対象請負代金額について

平成30年度の検査対象請負代金額は、95億700万円で、前年度131億800万円に対して36億100万円の減額となっています。



3 工事成績評定について

(1) 表彰選定対象工事(81点以上)について

表彰選定対象の工事は23件で、平成29年度20件に対して3件の増となっています。平成30年度の内訳は、土木工事4件、建築工事10件、設備工事7件、上水道工事2件です。

表彰選定対象工事(81点以上)過去5年間推移(件)

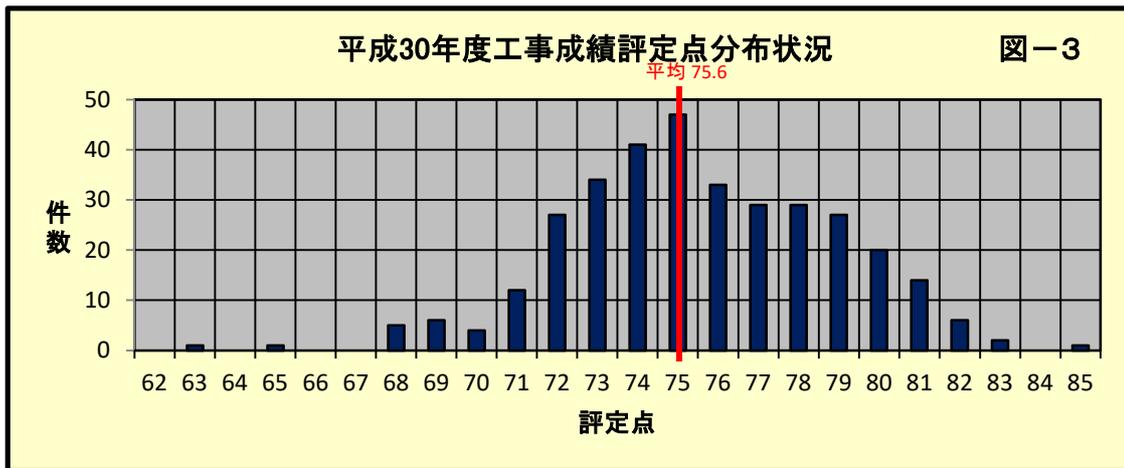
<表2>

表彰選定対象工事 種 別	評定点81点以上				
	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
土木一式工事	4	3	3	3	4
舗装工事	1				
造園工事	1				
建築一式工事	6	3	6	9	10
管工事			4	2	3
機械器具工事					
電気(通信)工事	7	4	5	5	4
上水道工事	2	2	4		2
下水道工事	1			1	
解体工事			2		
計	22	12	24	20	23

(2) 工事成績評定点について

平成29年度と同様に、平成30年度もバラツキが大きくなっています。

ア 200万円以上の竣工検査件数339件の工事成績評定点は、最高85点、最低63点で平均75.6点となっており、昨年度の平均点76.2点より0.6点低くなっています。



イ 業種別平均点は、最高77.0点の解体工事、最低73.4点の機械器具設置工事となっています。

